

平谷村

信州の南に位置し、標高900m~1,800mの山々に囲まれた人口414人(H30)の自然豊かな高原地域です。町の中心を走る国道153号線沿いには、道の駅と温泉が一体となった施設があり、大変賑わっています。また当地域では、高嶺太鼓や平谷歌舞伎も盛んに行われています。

見どころ紹介

ひまわり畑

平谷村のシンボル「ひまわり」。毎年7月下旬から8月上旬には、村の人たちが大切に育てたひまわりが、一面に咲き誇ります。ひまわり畑の真ん中で写真撮影をしたり、ひまわり迷路に挑戦したり、夏のお出かけにおすすめです。



平谷歌舞伎

伝統ある平谷村の無形文化財 街道の宿場町として栄える中で、江戸時代に村の若衆たちが旅芸人から学び、地芝居として定着したとされる「平谷歌舞伎」は、現在でも10月下旬の「珍珍幕府秋の陣」で大人歌舞伎、子供歌舞伎が上演されます。



珍珍幕府

平谷が年4回ミニ幕府に变身。その名も「珍珍幕府」四季それぞれに陣をはり、村人と観光客が一緒になって楽しむユニークなイベントです。

- 春の陣(5月下旬)
花植えや健康の集いで身も心もリフレッシュ
- 夏の陣(8月下旬)
つかみどり、花火、盆踊り等昼も夜も楽しさ満載。
- 秋の陣(10月下旬)
高原の紅葉、実りの秋に迎え、歌舞伎上演・紅葉ウォッチング等、秋にふさわしいイベント。
- 冬の陣(2月下旬)
平谷高原スキー場を会場に、雪とふれあい。親子仲良く雪遊びを楽しむイベント。



イルミネーション

冬の平谷は、幻想的なイルミネーションが灯ります。12月から3月上旬には、「ひまわりの森イルミネーション」が開催され、点灯式には菓子や豚汁の無料配布などもあります。1月下旬の「アイスキャンドルinひらや」では、住民が自然の寒さで凍らせた氷の器を持ち寄ります。ろうそくに火がともされると幻想的な光景が広がります。暖かい格好でぜひお越しください。



根羽村

長野県の最南端に位置し、愛知県と岐阜県に接する人口940人(H30)の村です。標高1,000mを越える山々に囲まれ、急傾斜地が多く平坦地が極めて少ない地域ですが、恵まれた地質と気象条件により杉・ヒノキを主体とした植林が盛んです。当地域では廻り太鼓や獅子舞が伝えられています。

見どころ紹介

ネバーランド

「ネバーランド」は平成8年7月にオープンした複合施設です。信州の最南端の小さな村根羽村、愛知県との県境にあります。深い緑の山あいを開けたオアシス。オリジナル乳製品・豆腐をはじめレストラン・お土産・コテージがあります。



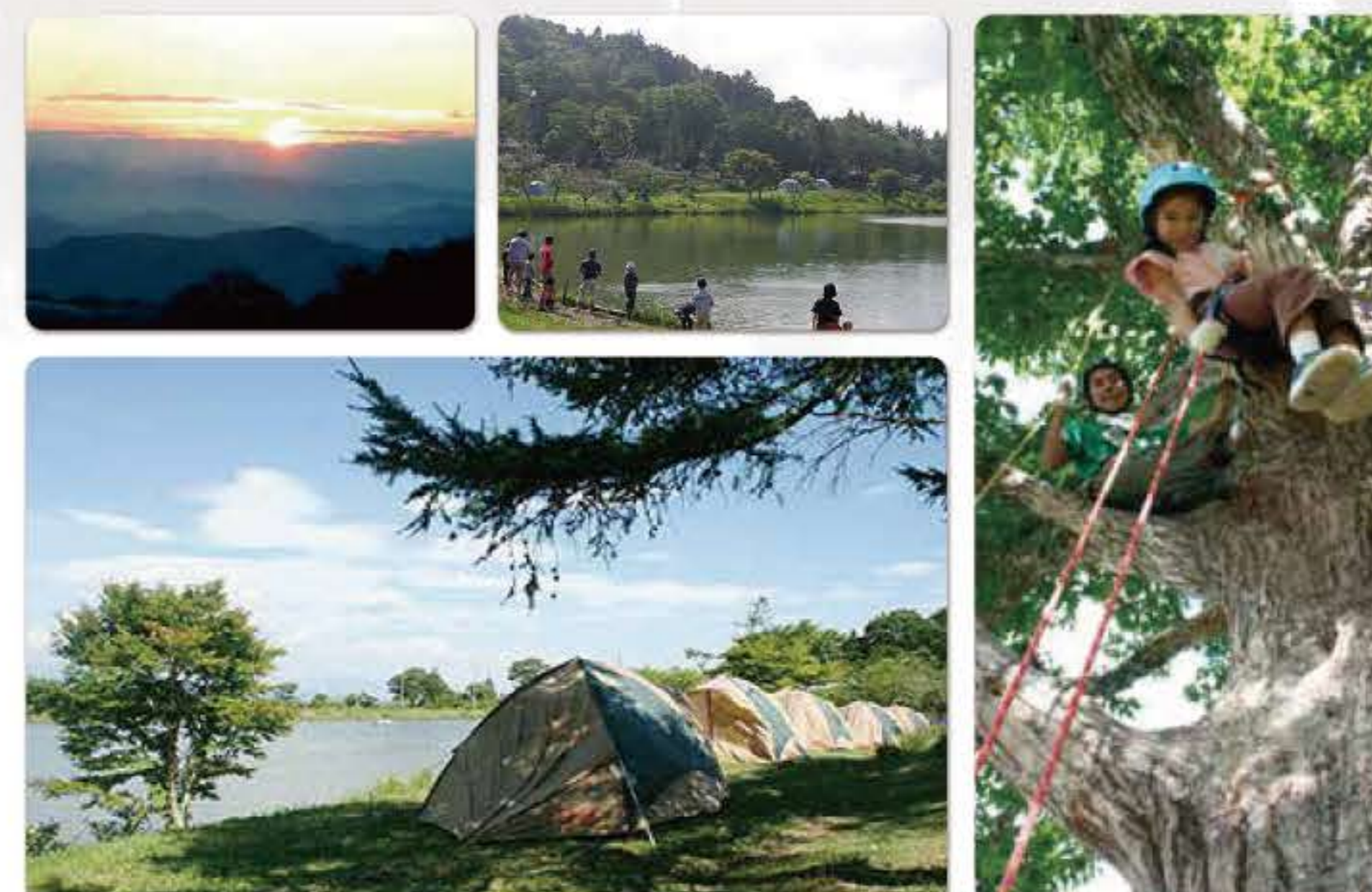
七年祭

八柱神社と各区の小社無格社と合併して、将来の神社の維持強化を行ったのが、明治四十年(1907)の秋十月です。その年から数えて七年目の大正二年(1913)にその合祀を記念して第一回の七年祭が行われました。



茶臼山自然公園・茶臼山キャンプ場

天竜三河国定公園に位置する茶臼山高原。愛知県にまたがる標高1,415mの茶臼山頂上からは、雄大な南アルプス、中央アルプス、北アルプスの南部に続き、遠州の山並みが望まれ、又南部にかけては愛知・岐阜・三重の三県に渡る山並みをパノラマのように遠望出来ます。



標高約1,200m。夏でも涼しいキャンプ村。調理道具や寝袋、食材などがセットになっている「お手軽キャンププラン」があり、手軽にアウトドアが満喫できます。ツリートレッキングや釣りなどのアクティビティも充実し、大自然と触れ合えます。

武田信玄終焉の地・根羽

■信玄騎馬隊
巨大陶壁画「信玄騎馬隊」。信玄塚入り口の国道擁壁に取り付けられた巨大な陶壁画。カラータイル10万枚が使われ、縦6m横40mで信玄騎馬隊が描かれています。



■根羽村 [横旗地区] 名前の由来
信玄の南下によって三河国根羽村は元龜二年(1571)信濃国へ編入されました。しかし三河攻めの折、信玄は三河の野田城攻撃中に肺肝を患い、根羽村で臨終を迎えたとされます。信玄が病重く、悲しみのうちに旗を横にしたのでこの地を「横旗」というようになりました。



信玄の眠る里。



長野県(根羽村・平谷村)

